

# ストップ!! ゴマダラカミキリ

たんかんなどのかんきつ樹を食い荒らし、枯死させる  
ゴマダラカミキリが徳之島でも問題になっています。

バイオリサカミキリと組み合わせたゴマダラカミキリに  
対するモスピラン顆粒水溶剤 400 倍の株元散布試験を行った  
ところ、効果が高かったなのでその防除方法を紹介します。



たんかん樹幹部に産卵  
するゴマダラカミキリ

表 ゴマダラカミキリに対するモスピラン顆粒水溶剤の使用基準

使用方法	希釈倍数	使用時期	使用回数
主幹から 株元に散布	200~400 倍	収穫 14 日前まで	3 回以内

## 1 4月下旬にバイオリサカミキリをかんきつの幹に巻く。



バイオリサカミキリに感染した  
ゴマダラカミキリの成虫

- 成虫に効果がある
- 地域全体で毎年行くと効果が高い。

## 2 6月上旬にモスピラン顆粒水溶剤400倍をかんきつの樹幹部、地上に出ている根に散布する。



ゴマダラカミキリ幼虫

- 樹内の幼虫に効果があり、約3週間弱、効果がある。
- 虫ふんの少し見え始めたころが散布適期。
- 7月上旬、8月上旬と1ヶ月おきに3回散布すると効果が高い。
- 散布時期が遅れると効果が低い。

栽培放棄園からゴマダラカミキリは、増殖して広がります。かんきつ園の  
管理をしっかりと行い、ゴマダラカミキリの被害をなくしましょう。